

WDOの
ご紹介

INTRODUCTION OF WORLD DESIGN ORGANIZATION

WDO



The World Design Organization (WDO)[®] is an international non-governmental organization and the international voice for industrial design. We advocate for Design for a Better World, promoting and sharing knowledge of industrial design-driven innovation that enhances the economic, social, cultural, and environmental quality of life. Today, WDO services over 170 member organizations, representing thousands of industrial designers around the world.

**DESIGN FOR A BETTER
WORLD** —————

ACHIEVING THE SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS BY DESIGN —



WHO WE ARE

WDOとは

World Design Organization (WDO) は、インダストリアルデザインの重要性を広く世界に提唱することを目的とした国際団体です。

「インダストリアルデザイン」を工業デザインのみならず、環境問題や経済問題の解決、社会的・文化的な暮らしの質の向上のために考えられたものすべてと捉え、その知識を世界で共有する様々な活動を行っています。

VISION & MISSION

目標とミッション

WDOは”Design for a better world”（デザインによるより良い世界の実現）を活動目標として掲げ、その目標達成に資する様々なプログラムを実施しています。

また、ミッションとして国連のSDGs（持続可能な開発目標）のインダストリアルデザインによる達成を目指し、活動の指針としています。

WDOのプログラム

WDOでは、様々な国・地域から加盟しているメンバーが積極的に参加できるよう、それぞれの属性に合った多彩なプログラムを展開しています。また、目標とミッションに基づき、デザインがもたらす社会課題の解決や新たな価値の創造を、広く世界と共有することを主眼として活動しています。プログラムは伝統的に実施されているものもあれば、比較的最近始まったものもあります。世界情勢の急激な変化によってデザインの持つ力に対する注目度は高まっており、外部団体とのコラボレーションプロジェクトなども次々と生まれています。



01

WORLD DESIGN CAPITAL®
ワールド デザイン キャピタル



2年に1回、デザインを活用して経済や社会、文化、環境の発展を果たしている都市をWDOとして選定し、その過程や成果を発信するための様々なイベントを1年間かけて実施しています。2008年のトリノから始まり、ソウル、ヘルシンキ、台北、メキシコシティ、と実施され、2020年はフランスのリールで実施。2022年はスペインのバレンシアが決まっています。



02

INTERDESIGN
インター デザイン



1971年から実施されている、伝統あるプログラム。世界中から集められたデザイナーが地域に滞在し、気候変動や都市の交通問題、人口の高齢化など、その地域の抱える問題について現地デザイナーと約2週間の短期集中ワークショップを行って、課題解決提案を導き出します。

PROGRAMMES

01 | WORLD DESIGN CAPITAL®

ワールド デザイン キャピタル

02 | INTERDESIGN

インター デザイン

03 | WORLD DESIGN TALKS

ワールド デザイン トーク

04 | WORLD DESIGN IMPACT PRIZE

ワールド デザイン インパクト プライズ

05 | WORLD DESIGN CORPORATE CIRCLES

ワールド デザイン コーポレート サークル

06 | WORLD INDUSTRIAL DESIGN DAY

ワールド インダストリアル デザイン デー

Programming is at the heart of our mission. With the support and collaboration of our members and partners, we advocate, promote, and share knowledge of industrial design driven innovation that has the power to create a better world, and we do this in large part through our international programming—World Design Capital®, World Design Talks, World Design Impact Prize, World Industrial Design Day, World Design Circles, and Interdesign.



03 | WORLD DESIGN TALKS ワールド デザイン トーク



主にデザインを学ぶ学生向けのプログラム。
WDO加盟団体のメンバーが開催地に赴き、現地の学生とともに様々な社会課題のデザインによる解決を考えるワンデー・ワークショップを実施しています。



05 | WORLD DESIGN CORPORATE CIRCLES ワールド デザイン コーポレート サークル



業種や国・地域の異なるWDO加盟企業のデザイン部門のトップが集まり、ワークショップ等を通じて意見交換や情報交換ができる場を提供するユニークな取り組み。競合しない企業同士の率直な知識や経験の共有によって、組織のさらなる発展を後押しします。



04 | WORLD DESIGN IMPACT PRIZE ワールド デザイン インパクト プライズ



社会・経済・文化・生活環境の質向上にインパクトを与える力を持つインダストリアルデザインを顕彰するもので、2年に1回実施されています。応募と推薦によるエントリー方法があり、WDOの加盟メンバーである世界のデザイン団体や教育機関・企業も注目するデザイン賞です。



06 | WORLD INDUSTRIAL DESIGN DAY ワールド インダストリアル デザイン デー



WDOの創立記念日である6月29日を”World Industrial Design Day”として、デザインの重要性を考える日と定めています。毎年WDOの加盟団体のメンバーが中心となって、世界中で同時にデザインに関するイベントを実施しています。

デザインが取り組むべき課題

私たちは、これまでに経験したことのない人口の急激な増加や天然資源の減少、急速なテクノロジーの進化などの、世界の大きなうねりの中で暮らしています。

WDOは国連経済社会理事会の特殊諮問資格を有するNGOとして、世界の経済や社会、環境に関する問題のデザインによる解決を提唱するリーダー的役割を果たしたいと考えています。国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）のデザインによる達成をミッションとして掲げ、特に以下の目標達成に向けていかにデザインが貢献できるか？を問いながら日々活動を行っています。



すべての人に健康と福祉を

病気にかかるリスクを減らし、健康の増進と心身ともに良好な状態の幸福な生活を実現するための先進的なデザインを世界に共有していきます。



質の高い教育をみんなに

サステナビリティや社会的責任への配慮、システム思考に重点を置いたデザイン教育の強化と次世代デザインリーダーの育成を目指します。



安全な水とトイレを世界中に

安全な水へのアクセス改善のためのデザインや公衆衛生向上のためのサービスデザインの事例を世界とシェアしていきます。



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

クリーンエネルギーの使用やエネルギー効率を上げるデザイン開発を推進し、気候変動の抑制に取り組みます。



産業と技術革新の基盤をつくろう

ユーザーの立場に立って、誰もが安価に手に入れることができる社会基盤やサステナブルな工業化を提唱します。



住み続けられるまちづくりを

安心して永く暮らすための都市計画や、災害等に強いまちづくりに役立つ優れたデザインを、世界に広く提案します。



つくる責任つかう責任

製品をつくる際の素材の効率的な使用や、サステナブルな素材の選択、使った後の処理のことまで考えられたデザインを提唱します。



パートナーシップで目標を達成しよう

WDOの幅広いネットワークを活かし、国際プラットフォームでの意見交換や知識共有を積極的に行い、デザインの力を世界に示していきます。



これらの目標の達成のため、「WDOプログラム」の中でSDGsに特化したテーマでイベントを実施したり、実行のためのワーキンググループに参加したりと、活動の領域を広げ、その成果を世界に発信しています。

WDOの歴史

WDOは60年以上の歴史を誇る国際デザイン団体です。インダストリアルデザインの重要性について話し合うための国際会議体として設立され、その後も時代の変化やニーズに柔軟に対応しながら活動内容を広げてきました。

ヨーロッパを中心に始まった団体の活動は徐々に世界各地へと広がっていき、現在に至るまで世界中のデザイン・コミュニティやデザイナーをつなげるプラットフォームとして機能し続けています。

1957 | ESTABLISHMENT OF ICSID ICSIDの設立

WDOの前身はICSID^{※1}といい、インダストリアルデザインの重要性について話し合う国際会議体の必要性の高まりから1957年6月29日に設立されました。当時まだ認識されていなかった「インダストリアルデザイン」という言葉を定義し、インダストリアルデザイナーの職能を世界に示すことを目的として意欲的な活動が展開されました。当初はヨーロッパのメンバーが中心でしたが、その中でJIDA^{※2}だけが、アジアで唯一の設立メンバーとして加わっていました。



● イタリア・ベニスで開かれた総会の理事会メンバー [1961年]

1970- | DEVELOPMENT AND GROWTH 発展と成長

その後急速に発展し、加盟メンバーも増えたICSIDは、1970年代には世界のインダストリアルデザイナーを集め、国際会議やワークショップを開催するようになりました。

1973年にはアジアで初めてJIDAがホストとなって京都で総会が開催され、西欧とアジアのデザイン交流が生まれるきっかけとなる、歴史的なイベントとなりました。



● 京都会議でのラジオ放送局 [1973年]

1980- | PROGRAM EXPANSION 活動領域の拡大

ICSIDの活動はさらに活発となり、グラフィックデザインの団体やインテリアデザインの団体との連携なども深めながら、国際団体としての地位を確立していきました。

また、サステナビリティや知的財産権など、その時代においてデザインが意識すべき課題も取り入れながら、実施するプログラムが増えていきました。



● 韓国・ソウルで開催された「インターデザイン」参加者 [1999年]

2017- | FROM ICSID TO WDO ICSIDからWDOへ

「インダストリアルデザイン」の定義をより広く捉え、活動領域をさらに広げていくために2015年に韓国・光州で行われた総会において、設立60周年となる2017年から団体名称をICSIDからWorld Design Organizationと改めることが決議されました。WDOは、これからも”Design for a better world”を目標として活動を続けていきます。



● インド・ハイデラバードで行われた総会 [2019年]



JOIN WDO

BENEFITS

WDOに入ると

WDOは約40の国・地域から、約170のデザイン関連団体・企業・教育機関等が加盟している、世界最大級のデザインの国際機関です。「デザイン」を共通言語とした仲間が集い、国・地域や属性を超えた交流が盛んに行われています。最近ではオンラインでのイベントも多数開催されています。この国際プラットフォームに加盟することで、ネットワークの拡大やイベント・プロモーションの機会など様々なメリットがあります。

1 BENEFITS

世界のデザイン団体・企業・教育機関とのつながり

メンバーになることで、世界中のデザイン団体や企業、教育機関との領域を超えたコンタクトが可能になります。また、2年に1回開かれる総会「World Design Assembly」では、直接メンバー同士が出会い、ネットワークをさらに広げ、深めることもできます。

2 BENEFITS

WDOプログラムへの参加

WDOが主催している様々なプログラムに参加し、デザインに関する最先端の知識や情報を共有することができます。また、国際イベントとして招致することで、地域の活性化につなげることも可能です。

3 BENEFITS

WDOによるイベントの後援

WDOの加盟団体が主催するイベントはWDOの後援名義を受けることができます。また、WDOのウェブサイトやSNSによる広報ネットワークに載せ、世界中にプロモートすることもできます。

4 BENEFITS

国内メンバー同士のコミュニケーション

WDOを共通のプラットフォームとして、ワールド インダストリアル デザイン デーをはじめ、各種イベントの開催や参加に際して、国内のメンバー同士が交流し、情報交換をすることができます。

WDO日本メンバー

現在日本からは以下の5団体がメンバーとして加盟しており、日本でのイベントの実施やWDOのイベント参加などで交流を深めています。

●メンバーになるには——WDOのメンバーシップには、Professional(デザイナー団体)、Promotional(デザイン振興団体)、Educational(教育団体)、Corporate(企業)、City(デザイン都市)などの種類があります。加盟をご希望の方は、WDOのウェブサイトからお申し込みください。ご不明点などは、裏表紙に記載の連絡先までお気軽に日本語でお問い合わせください。



Professional Member

公益社団法人

日本インダストリアルデザイン協会



1952年創立。icsid(現WDO)創立メンバー。
日本におけるインダストリアルデザインの唯一の
全国組織。インダストリアルデザインの職能の
確立と向上のための活動を行っています。
アジア初の世界インダストリアルデザイン会議
(京都会議)開催などWDOとの関わりは深く、
2019年からは名誉会員となっています。

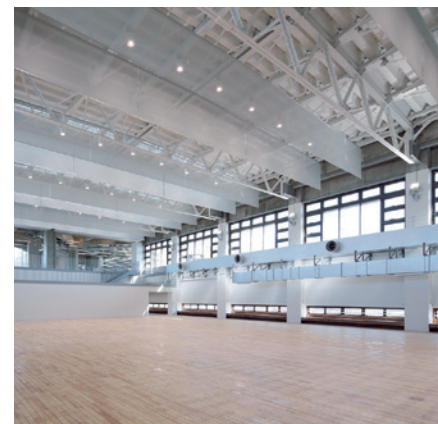
Promotional Member

公益財団法人

日本デザイン振興会



日本において総合的なデザインプロモーションを
担う唯一の機関です。60年以上の歴史と実績を
誇る世界的なデザイン賞である「グッドデザイン
賞」や、デザインの魅力と可能性を発信する
「GOOD DESIGN Marunouchi」、「東京ミッド
タウン・デザインハブ」をはじめとする各種のデザ
イン振興事業を手がけています。

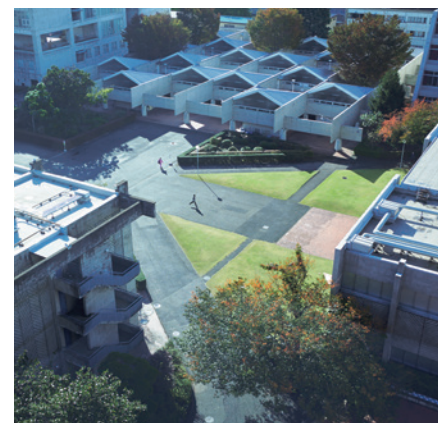


Educational Member

千葉大学



1921年設立の「東京高等工芸学校」を前身とし、
学部から博士課程まで、工学を礎としたデザイ
ナーを育成しています。海外の大学との連携に
よって学生の多くが留学しており、グローバルな
高度専門人材を育成しています。2021年には
建学100年を記念し、東京にサテライトキャン
パスを設置、未来をシミュレートするデザイン
教育・研究を展開します。



Educational Member

武蔵野美術大学



前身である帝国美術学校(1929<昭和4>年
創立)が東アジアから多くの学生を受け入れた
ことに始まり、本学は美術・デザインの高等教育
機関として先進的に国際交流活動に取り組んで
きました。海外機関との協定締結、国際交流プロ
ジェクトや留学生の派遣・受け入れ、訪問教授に
よる特別授業、学生の海外での活動支援などを
実施しています。



Educational Member

多摩美術大学



本学はファインアートからデザイン、演劇舞踊
まで、様々なジャンルの10学科から構成される
総合美術大学です。

創学以来「自由と意力」を教育理念に掲げ、約
4.5万人の卒業生を輩出し、美術家やデザイナー、
研究者として活躍しています。国際的な連携が
不可欠な時代、WDOや海外の大学との連携を
大事にしています。

wdo.org



国内お問い合わせ先

公益財団法人日本デザイン振興会

担当：津村

info-e@help.g-mark.org

www.jidp.or.jp

INTRODUCTION OF WORLD DESIGN ORGANIZATION

WDO



The World Design Organization (WDO)[®] is an international non-governmental organization and the international voice for industrial design. We advocate for Design for a Better World, promoting and sharing knowledge of industrial design-driven innovation that enhances the economic, social, cultural, and environmental quality of life. Today, WDO services over 170 member organizations, representing thousands of industrial designers around the world.